

夏休みが終わり、着々と秋の近づきを感じられる季節になりました。
秋は様々な形で私達の生活に実りを与えてくれます。

「芸術の秋」、「スポーツの秋」、そして「読書の秋」等と・・・
図書室には、新刊本が多数入りました。何気なく手にとった一冊が
人生の指針となる、そんな一冊と出会えるかもしれません。
この機会に読書を楽しんでほしいと思います。



★古本の提供にご協力をお願いします！

図書委員会では今年も紫紺祭に“古本市”を出店します。
古くなった本、家の片隅に眠っている本など、読まなくなった本を10月7日（月）
から集めますのでご協力をお願いします。

★全商検定試験過去問題が図書室にも置いてあります！

場所は図書室内入り口左、キャビネットの中に全商検定過去問題がありますので、
利用してください。



新着本紹介



『むらさきのスカートの女』	今村 夏子／著	『海を撃つ』	安東 量子／著
『キミが勉強する理由』	藤原 和博／著	『平場の月』	朝倉 かすみ泉／著
『ひとりて考える』	小島 俊明／著	『百花』	川村 元気／著
『内戦の地に生きる』	橋本 昇／著	『1分で話せ』	伊藤 羊一／著
『あの日のオルガン』	久保 つぎこ／著	『小説 天気の子』	新海 誠／著
『子どもが育つ条件』	柏木 恵子／著	『里山資本主義』	藻谷 浩介／著
『百の夜を跳ねて』	古市 憲寿／著	『疑似科学入門』	池内 了／著
『もういちどベートーベン』	中山 七里／著	『渦』	大島 真寿美／著
『美しき愚かものたちのタブロー』	原田 マハ／著	『原爆』	石井 光太／著
『答えは本の中に隠れている』	岩波J新書編集部／著		
『目に見えない人は世界をどうみているのか』	伊藤 亜紗／著		



ここで紹介しているものは、ほんの一部です。
お気に入りの一冊をさがしに、図書室に来てみて下さいね！

